

刊夕 日四月十

# 常 警 日 新 聞

定額一圓五錢 每月五圓 郵費在內  
 廣告料五號十二 掛一行金五拾錢  
 日曜祭日の翌日休刊  
 發行所 常警毎日新聞社  
 東京市常盤町三丁目三番地  
 電話 六三〇〇  
 印刷所 常警毎日印刷株式会社  
 東京市常盤町三丁目三番地

## 佛様といふ生命線

真 繼 雲 山

私は、かつて蒙古奥地を旅行してゐた頃のこと、直射日光百四十度の砂漠に灼きつくされて、身心ともに疲弊し、樹蔭を見つけて慰ふ折りなど、モウこのまゝ絶多入るかと思はれたことも一再ではなかつた。しかし、さう觀念しながらも、一たび好きな愛馬に跨りて鞭をあてると、不思議に氣も心もシャンとなつて前刻の疲弊は何處へやら消え失せたやうになるのが常であつた。私は生來、乗馬が何よりも好きなので、かつては乗馬倶楽部の俄鬼大將でもあつた、いさ黄塵萬丈の帝京に隠棲し、多忙や何かも手傳つて、その縁を断たれてゐることを心淋しく思ふ。

赤垣源藏は、死んだら手向の水はいらぬ、酒を供へてくれといふたさうな。乗馬で疲れが治るといふのも變則なれど、猫の病氣に鼠は薬といふから、好物のため一切の障碍の退散する理もある。

斯く申す私の如きも、時には病難貧難など櫛比して雲集することもある。今は乗馬に縁なきも、その代り佛様といふ好物があるので

さういふ萬難に直面する毎に香を薫じて佛前に端坐することにしてゐる。斯くて鐘をうち、讀經一篇、佛書をひもとくと、大抵の妄念は影形もなく退散して、窓から漏れ来る太陽の光りに光明無量、壽命無量を讚歎し、死にもせず斯く生き

**ノート**  
毒茸は傘の内側に鹽をふりまくと、黄色に變色する。黒く變るのは大抵食られる種類。

させて頂いてゐることに、心からなる限りなき歡喜を覺えるが常である。私と申す一匹の猫は、佛様といふ鼠を與へらるゝことによつて身心の惡病は立ちどころに退散する。

### 二明日の献立

- 【朝】ねぎ豆腐すまし汁
- 【晝】車えび、ほうぼう天ぷら、おろし大根、合ひ醬油。
- 【晚】薄打蓮根、油揚げ、ごま酢あへ。

赤垣源藏は酒で病氣が治つたに相違ない。女の好きな男は美人で病氣が治るに相違ない。にがいはかりが良薬とは限らぬので、ビタ

りと機縁の合したところに生てゆく道が開ける。この故に善導大師も「教門一にあらず我が機に契はずば參學するとも徒爾なり」として、念佛の一門に精進せられた。

あしたに太陽と共に起き出で、ラヂオ體操に無窮の天を仰ぐ私も、終日の勤勞にもまれて、夕べにはグツグツとなるが、そのとき唇邊をついて洩れ出づる聲名の一聲は、假りの世の一切の雜行を洗ふて一念、西士の清淨佛國を示してくれるに充分である。私は斯うして、あしたに夕べに無量の高價藥を佛様から恵まれて生死の白道を歩んでゐるのである。佛様を失へば生き

てゆく力を失ふ私に取つて佛様こそ私の生命線である。

### 【完】

### 話笑

▼夢の中で呑めばよかつた  
ある酒好きの男、夢に酒を貰つた夢を見た妻を呼んだが來ない、何をぐづぐづしてゐるかと思ふと、徳利を倒して夢が醒めた。「惜し事をした冷でやればよかつた」

## 燈下雜筆(二)

島田 忠夫

□ 旅中の反目  
よく友達など連れ立つて旅へ出て十日も一緒に居ると旅の疲れからか、或はお互ひに吾儘が出る故か、反目し合ふことがよくある。佛聖また芭蕉も奥の細道に於て、腹心の從者會良と反目したらしいこと明かである。乃ち起後のあたりで、會良だけが一足先に宿を立つてゐる。前夜腹をこはした會良が、師匠の芭蕉を置いて發つたのはいかに不自然である。



## 常 警 歌 壇

根矢 勇 吉

息絶ゆる激し癡癡の手に應へ一つの命消え去らんとす

手を放ち動かし見れどこの鳥ははやくに動かず命絶えたり

**藤沼醫院**  
平町紺屋町  
電話五〇七番

外科 柳花 門 專 科 病  
**院 醫 科 外 村 木**  
際橋目丁五町平 番九〇三話電  
りあ便の炊自院入

目 丁 二 町 平  
**一 シ ク タ 井 三**  
番 五 八 六 話 電

耳鼻咽喉科専門  
**大和田醫院**  
平町南町 電一七〇

三河産業博覽會 金牌受賞  
昭和産業博覽會  
かまぼこ 製造  
お惣菜用 さつま揚 吉原揚  
平町一丁目  
**不 孫 寛**  
電話一四一番

外科 門 專 科 線 光 X  
上田外科病院  
平町南町 電話一二九番

葬具と 靈柩自 自動車御 用達  
造花  
は 町川新町平  
屋 本 橋  
番三六一話電  
有難ふ御座ります  
うなぎの御用命は  
うなぎ 奴  
平町田町(電話二二番)  
ホール御座敷の設備あります。皆様の御立寄を!!

# 郡民に感謝すと

## 凱旋將軍の熱辯

### 雨中嵐の如き歡迎裡に

#### 來平した平田少將

昨報前若松歩兵廿九聯隊長として滿洲事變に勇名を轟かした平田少將は本日午前十時三十分平驛着列車にて來平した折柄の雨中を驛頭に堵列した郷軍人分會員青年團、小學生を始め官民の盛大な歡迎裡に同將軍は直ちに講演會場たる聚樂館に赴き伏見町長の開會の辭に次いで同少將は『石城郡民諸君に感謝す』と題して滿洲事變當時同少將配下たりし郡出身兵の奮闘振りを詳細に物語り是偏に郡民諸君の熱烈な後援の賜であると同時に互つて熱辯を振るゝ大喝采を受けた後藤田在郷軍人分會長發聲で萬歳を三唱して散會午後一時より住吉屋本店に於ける町主催の歡迎に臨んで午後三時二十分平驛發列車にて仙臺市に出發した

上會員一同にて好間上野原水道貯水池及び沈澱池を視察する件並に來る二十三日午前十時より第二小學校に於て總集會開催する件等を協議決定したが當日は倉橋惣三氏の講演ある筈にて目下交渉中

## 郡内の巡回診療

平署構内に車庫新設  
巡回用自動車を常置  
巡回日割決定す

### 巡回日割決定す

既報縣では救療事業に基く巡回診療に就いて巡回自動車四臺を購入し是を平、白河、若松、縣廳に各一臺づつ配置する事になつたが平署に置かれたる巡回自動車には醫師吉野文郎、藥劑師上田茂、書記松浦誠、看護婦箱崎フサ、運轉手佐藤勇の五名が任命され愈々來る十九日より石城、双葉、相馬の三郡に亘つて活動を開始する事となつた爲近く平署構内に自動車庫を設けられる筈であるが石城郡各村の巡回日割は左の如く日ある

十月十九日鹿島 廿日箕輪の廿一日永戸 廿三日川部 廿四日荷路夫 廿五日貝宿 廿七日石住 十一月廿一日川前

## 新しい級長さん

### 第二校で本日決定

平第二小學校で本日後期級長を左の如く任命した  
△尋常科 (三ノ一) 梅津吉子 關原芳枝 (三ノ二) 馬目静 木田秀子 (三ノ三) 原つね 酒井良子 (三ノ四)

浅野敬子 吉田貞子 (四ノ一) 小園井瑞美 根本ツネ (四ノ三) 梶原フミ 關内義子 (四ノ三) 端山多賀子 佐藤子 (五ノ一) 小野光子 近藤シヅイ

## 兒童の自力更生

### 豆腐を行商して

#### 學用品を購入

農村救済自力更正の叫びれる中で石城郡小名濱小學校の兒童約廿餘名は朝夕二回の利益に依つて學用品の購入をなして居る由で目下同町では兒童の自力更正として好評を博し兒童の販賣品を購入する者が多いと

平檢事局にては最近著しく事件が増加したので是が能率増進の爲め共電式接續電話を取付けたが呼出し番號は裁判所と同じく四十二番で本日より開通した

## 金子督學官

### 警中警女を

#### 十八日視察

文部省普通學務局督學官金子健二氏は縣下各學校の學務視察の爲め來る十七日午後六時十五分平驛着列車にて來平し翌十八日には警城中學校及び警城高等女校を視察する筈であると

## 古河礦業技會

石城郡好間村古河炭礦會社では來る九日午前八時より同礦小館グラウンドに於いて男女従業員の大運動會を開催する事になつた

より團體事務所にて差押物件の入札を行ふ事になつた

## 共同購入協議

石城郡上小川養蠶實行組合では來る十日午前八時から村役場に於いて役員會を開き蠶種の共同購入に就いて協議する

## 体育大會

### 明治節に

#### 平商校で

平商業學校では來る十一月三日の明治節をとし全校生の陸上競技大會を開催するが種目は  
百米 二百米 四百米 千五百米 一萬米 八百米リレー(各學年對抗及び職員對抗) 走巾 走高砲丸投 三段跳

## 平百面鏡

### 平驛附近の

#### 一偉觀!

酒井商店新築  
常磐銀行の横町でセメント材料を營業して居た酒井伴城商店は今回住吉屋支店と世界館の間に大商店を新築中の處愈々落成したので明日移轉する由であるが内容の充實と共にセメント、人造品、壁材料等の販賣を開始するとの事にて開店後に於ては平驛附近に一偉觀を添ゆる事となるであらうと期待されて居る

## 入札競賣

十日團體事務所  
石城郡鮫川堰水利組合では過般組合費未納者小名濱町鈴木セテ四名の差押を行つたので來る十日午前十時

## 秋の装ひ!!!

### 玉屋洋品店の

中折帽子  
田町玉屋洋品店では目下今秋帽子界の逸品を取揃へ見事な陳列と裝飾で人氣を呼んでゐるが帽子界今秋の流行は若向きとして鼠色切ツバ・中年以上は濃茶系の赤井型、値段は流石時節柄だけに普通品で六七十銭から二三圓止めの處が物凄程の賣れ行き五六圓から十圓程度の高級品フアーなども去年あたりまでは見られなかつた活氣ある賣れ行き振りの事今年も引續いて中折全盛打よりは一般向らしいとある向同店では御一報次第見本品も數多く持参して店員が早速上御選擇の便に資すると言ふ勉強振りが一般からの人氣を呼んでゐる電話は六五六番

## 平町人事

△長橋町三九 當時北海道札幌郡江別町一九一武田徳四郎氏三女美代子  
△紺屋町三二 阿部章氏五女トキ子  
△六間門一六 當時東京市本所區業平町四ク一四相川龜吉氏二女満子  
△田町五七 西山一氏(二四)堤ノ内一三深谷シゲ(二二)  
△回死 河瀬清志氏 長男美貴

# 非常時立法調停法

## 申立のトツプ

### 平區裁判所で受理 興味ある調停結果

平區裁判所では去一日から實施された金銭債務調停法による調停申立の續出を豫想して中島監督判事以下總出動で準備を進めてゐた折柄今四日平町白銀町松野龜太郎が此のトツプを切つて調停を

**申立た**ので同才裁判所では直ちに受理したが事件の内容は前記龜太郎は去昭和二年中同町會議員櫻井清から年一割二分の利子で金百九圓を借り受け不況の爲め支拂へず今日に至つたもので此の程債権者櫻井清より支拂命令を發せられたので直ちに

異議の申立をなしその辯論は明五日開口判事係り渡邊書記立會の下に開廷される筈だが一才債務者龜太郎の實母サダは反對に櫻井清に貸金があり之れと相殺して貰ひ度いと前記の如く調停を申立たものである此の申立を受理した平區裁判所では中島監督判事が自ら

## 四倉南市況

### 幾分下向も

四倉南市場三日の取引は白藷千六十貫最高五十七圓、最低三十四圓五十錢馴五十圓六十錢と出荷貫数は相當に達し乍ら相場に於いて少々下り氣味を示し一般養蠶家を不安ならしめたがリツト報告書の不利による一時的現象と見られて居る

### 磐崎青訓生 松茸狩り

九日玉山で  
石城郡磐崎村青年訓練所生一行三十餘名は九日大野村字玉山地内山林で松茸狩を行ふ筈

### 手の長い あん摩

#### 手探りで盗む

双葉郡廣野村大字下淺見川按摩業坂本己之松(三)は本年五月十日頃隣家の高橋モ

### 既に罹病五百頭 豚コレラ終息せず

#### 依然需要薄で...

既報郡下の豚コレラは近年にない大被害を及して目下罹病斃死せるもの五百頭に達して今後當分は終熄する模様もないので遂に去る一日より縣令を以つて本郡内の豚移出移動は禁じられた等の關係からそろゝ豚の需要期に入り乍ら一向需要者がなく市内の肉屋さんはいづれも悲鳴を擧げて居る

宮字鬼澤千葉平作の次男照男(三)は昭和五年二月頃無断家出をした儘行衛不明であるが照男は明年徴兵適齡なので本日平署に父親から同人の捜査方を願出た

### 川崎社長出發

#### 放送と講演に 十三日頃歸町

既報名古屋放送局から童話放送の爲め川崎本社長は今四日午前五時二十分平驛發上り列車で出發同放送後關西北陸各地で童話講演十三日頃歸町の豫定である

### 家出息子の 捜査願

明年が徴兵期で宮城縣栗原郡藤里村字川畑生れ當時石城郡内郷村大字

明日のラジオ  
五  
報後氣天  
今映も明日も北  
東の風曇り小雨  
模様

今晚の部  
後六、〇〇 子供の時間  
獨唱 本多信子 伴奏ダ  
ン道子  
後七、三〇 趣味講演「大  
東京の今昔」文學博士笹  
川臨風  
後八、〇〇 ラヂオ風景

明日の部  
前九、一〇 料理献立「子  
供のおやつパンケツト」  
押田信恭作「大東京ラヂ  
オ風景」小堀誠外  
後九、三一 満洲より  
全國ニュース 氣象通報  
番組豫告

### モグリ周施業捕る

#### 子守を周旋し卅圓を捲上ぐ 餘罪もある見込

石城郡湯本町字榮田七五無職高木毅(三)は無免許で昨年五月廿二日小名濱町西町一四齊藤平藏の長女シノブ(三)を千葉縣千葉郡幕張町中宿葉子南志村仁三郎方に子守として前借五十圓にて周旋しうち三十圓を手數料として横領消費した事發覺目下平署にて取調中であるが餘罪も多數ある見込

### 自轉車ドロ

#### 郡山署に捕る

石城郡神谷村字中神谷生れ當時住所不定志賀新作(三)は八月頃より平郡山地方で自轉車専門の窃盜を働いたが去る二日郡山署に檢擧されたので本日平署に同人の身元照會があつた

### 平裁判たより

石城郡赤井村筒井炭礦坑夫花山悦事朴生洞(三)は去月二日赤井村字作ノ内に於て川崎庄作、田中一郎等とに花札を使用して賭博博奕をなし四日平區裁判所で略式命令料科十五圓に處せらる  
昨報相馬郡小高町大字中津原二十番地無職前科九犯渡邊菊次郎(三)が去月二十八日平白銀町北郷トク方に

河田捨松  
前一〇、三〇 趣味講座  
「書畫骨董を通して見たる達磨」二 舟越聖戒  
後一〇、五〇 浪花節「桂川力藏」東家樂坊  
後二〇、〇〇 家庭大學講座「倫理學三品性」東京帝大講師大島正徳  
後二二、五〇 運動競技「六大學野球リーグ戦試合狀況」慶大對帝大二回戦  
明治神宮外苑球場より中繼  
後五、三五 趣味講演 萬

柏亭  
後六、〇〇 子供の時間  
童話劇「お千代と小鳩」玉澤七三子外  
後七、三〇 講演「豚の傳染病豫防に就て」農林省技師布村繁  
後八、〇〇 常磐津 常磐津文字太夫  
後八、四五 小唄 唄小林喜舞 三味線佐橋童子  
後九、〇〇 管絃樂 新交響樂團練習所より中繼  
日本放送交響樂團 指揮平野主永

### 平職業紹介所報告

回求人部  
△ミシシ裁縫見習 尋卒  
仕着小遣(東京市某)  
△雑役 二十五才 尋卒  
給料面談(四倉町某)  
△納豆製造見習 十八才  
尋卒 月四圓位(平町某)  
回求職部  
△ミシシ裁縫 十七才 商  
三卒(給料面談(平町某))  
△雑役 三十二才 尋卒  
給料面談(平町某)  
△土工夫 四十四才 尋卒  
給料面談(兵庫縣某)  
△商店雑役 二十五才 高卒  
給料面談(茨城縣某)

# 幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演  
近藤紫雲畫

第六十七席 女流劍客里見靜枝

誘き出された地獄坂

妓は寄居の俠客寅五郎の住ま居、時は五月の中旬、虎「櫻井先生支度が良ければ出懸けませう」

五「ハイ、もう用意も整いました、長谷部貴公も同行いたすがよい」

云はれて傳藏が

傳「御一緒に参ります、時に親分からあなたがお出でなさる藤岡の慶助といふ者は上州では屈指の親分ださうでございますな」

寅「縛名を火の玉と云ひます、それは手の附ける事が出来ねえと云ふ處から出た異名だ、然し寄る年波には勝つことは出来ねえと見えて今度兎分に細張を譲つて只の爺になります、明日はその退き祝ひ今日中に藤岡に行つて置かずば明日顔を持つて行くことは出来ねえ、當日は諸方から顔役が義理を持つて来るからその人々に會つて置けばお前さんの爲にもなる」

傳「左様でございますな、それに手前はまた親分衆の集會を見た事がござらぬ、定めし盛會でござらう」

寅「それは大したもの、先づ明日は八百兩や否や」

寅「人の一生は判らねども、

傳「えらいものでございませう」

虎「デハそろ／＼出掛けようぜ」

と留守は兎分に頼んで寄居を出てあれから兒玉町へ来て此處で中食をしてそれ



より藤岡を指して行く此郷は桑畑が多い

寅「長谷部先生今夜は藤岡の武藏屋に泊つて藝妓でも揚げて遊ぶかな」

傳「それは愉快でござらう」

寅「人の一生は判らねども、

寅「人の一生は判らねども、

ので、今こんな威勢がよいが、今日にも俺が死ぬかお前さんが佛になるか、櫻井先生がお佛になるか、こんな事を思ふと生きてゐる内に樂をして置きたいものだ、死んで後悔した處でもう娑婆に出ることは出来ねえ」

傳「御尤も至極」

虎「況してこんな稼業をしてゐれば細張りの争ひから明日にもこの息の根をとめられる事もあらう、又お前さんは人を斬つた兇状もあり、其殺された者の悴とか娘だとか又縁者がお前さんの行衛を尋ねて此處へ来る

ばかりは頼みにならねえものだの」

五「左様、一寸先きは關の中、佛も無常迅速と説きました、やがて死ぬ景氣は見えぬ蟬の聲、南無阿彌陀佛々々々々々々」

傳「そんな事を云つては地の底へ引入られるやうになるさア、親分急ぎませう、オー坂にかゝりましたな、道が悪いな」

虎「此處を地獄坂と云つてね、向ふに見える森の中に寺があり、それを無常寺といひ、ソレ左に見えるあの塚を首塚といひ、その傍にある沼を血の池と云ひます」

傳「不吉な所だ、さア急ぎませう」

藤岡手前の神流川にかゝつて来た、其時バラ／＼と行く方に現れた男女三人、中にも二人は甲斐々々しき扮装、先に立つた十八九歳になる女が

女「長谷部傳藏暫く待て」と聲を掛けた、傳藏は一足後に下りキツトその人を見て

傳「オー貴様は里見の娘静枝であつたか」

静「昨年五月其方の爲に非業の最期を遂げし父主計の怨を晴らす、尋常に勝負いたせ」

と云ひつゝ刀の柄を叩いて進み寄る、續いて主計の門人山路金作と名乗り是亦進み寄る、イヤ續いたは長谷部傳藏

傳「親分これへ狼籍者が出ました、此奴等は狂人でござる」

虎「出たかね、とう／＼無常迅速が現れたナ、櫻井先生静枝さんが出ましたよ」

五「これに現れたかな、コレ長谷部卑怯な事を致すなこの五助が助勢いたし呉る」

傳「それは千萬添けない」

五「待て待て貴様に助勢するとは云はぬ、里見殿の息女に助勢致す」

傳「さては此奴等企み居つたな、この上は返り討にいたして呉れる、覺悟しろ」と冠りし笠を投げ刀の下緒を取つて禪と爲しスラリと引抜いた一刀、イザ參れと身構けた。

## 一冊の代金で御希望通りな

## 五冊の雑誌が自由に讀める

## 川崎巡回文庫

(申込次第規則書進呈)

◎期 日昭和七年十月十六日(第三日曜)雨天強風順延

◎場 所 平町第三小學校庭

◎競技方法 タイム滞空競技

## 郡下模型飛行機競技大會

◎賞品 A組一等 掛時計一個以下十等迄 B組一等 大正琴一臺以下五等迄

奮て多數参加あらん事を願ふ！  
規定及び詳細は主催店へ御問合せを乞ふ！

主催 平町 いづみや飛行機材料店  
後援 平町 常磐毎日新聞社  
東京 タイヤモンド 東京研究會

りこん病 永らく悩む人の福音  
天下の名湯別府温泉で出来た無効返金責任薬

### 別府温泉 淋病薬

全國知名新聞 こんなヨイクスリを未だ知らな雑誌 推奨 い方がありませうか

右は岩里家古來よりの家傳秘法薬にして男女血らし慢性淋病、こしけ、濁濁の病みは不思議に止り連服するも絶對胃腸傷害なき各薬であります。

尚ほ此の薬は責任速効薬で二日内服して効なき時は殘薬引換に全部異議なく返金します。

論より證據服薬した人は皆全快喜んで居ります。慢性、悪性の人は七日以上服差して下さい。

美本淋病治療書無代進呈 此の新聞各記入申込者に付前金申込者には送料無料、新品送薬す。

代金引換廿三銭手数料金納の事。

薬價 急性用(黒箱) 一週分 參圓  
慢性用(赤箱) 一週分 五圓

特約 平町古鍛冶町一〇  
手販賣 阿康藥舖

縣社ノ下(電話四四番)

旭硝子株式會社製品  
赤菱印

## 板ガラス

硝子 壺  
硝子 食器  
其他 各種

### 松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番)  
仙臺市榮町(電話五九七番)

◇支工場